

鹿骨小学校・松本小学校の統合・改築について

令和5年3月1日
保護者説明会資料

1. 統合・改築の理由

① 学校施設の老朽化

鹿骨小は築59年、松本小は築50年となり老朽化が進んでいます。

② 両校の学校規模

両校ともに学校教育法施行規則に基づく標準規模(12~18学級)を下回っています。

③ 年少人口の減少

両校がある鹿骨地域の6~11歳の人口は減少していく見込みです。

◆鹿骨地域の人口推計(6~11歳) (単位:人)

	2020年	2022年	2030年	2040年	2050年	2060年
6~11歳	2,938	2,712	2,530	2,455	2,429	2,189
2020年比	—	△7.7%	△13.9%	△16.4%	△17.3%	△25.5%

≪参考≫児童・学級数の推計

		R4	R5	R6	(単位 上段:人 下段:学級)			
鹿骨小	児童数	177	168	164	R7	R8	R9	R10
	学級数	7	7	7	391	377	365	358
松本小	児童数	232	225	224	12	12	12	12
	学級数	9	9	9				

統合

校舎老朽化による建て替えのタイミングにあわせ、将来的な児童数の減少も見据え、両校の統合と改築を行います。

統合・改築の概要

- 鹿骨小と松本小を令和7年4月に統合します。
- 令和7年度から松本小敷地で新校舎の建設工事を行います。
- 建設工事期間中は、現在の鹿骨小の校舎で学校運営を行い、令和9年度中に新校舎を利用開始予定です。
- 統合後の通学区域は、現在の両校の通学区域を合わせる予定です。

2. 統合による効果と課題

【効果】

- クラス替えが可能となり、児童同士の新たな出会いが増える。
- 多様な意見と触れ合う機会が増え、学力や学習意欲が向上する。
- 音楽、体育等の集団で行う授業が充実する。
- 競争性が生まれ、意欲や成長がより感じられる。
- 教員の経験年数・専門性等バランスのとれた配置が可能となる。 など

【課題】(「⇒」は対応案)

- 児童が新しい環境に慣れるまでのフォローが必要。
⇒新しい環境にすぐ溶け込めるよう統合前に児童交流を実施します。
- 児童一人あたりの校舎・校庭面積が狭くなることによる活動への影響。
⇒新校舎の設計上の工夫により校舎・校庭面積を確保します。
- 通学距離や通学時間が長くなる場合がある。
⇒通学区域の変更に合わせて、より安全な通学路の設定を行います。 など



更なる教育環境の向上を図る

3. 統合に向けた取り組み

主な検討事項

- 校名・校歌・校章の方針
- 統合後の通学路の検討と安全点検の実施
- 学用品の方針
- 児童交流の方法・時期 など

- 今後、統合に係る諸課題について検討し、統合前の準備や調整を行っていきます。
- 検討した事項については、説明会や区ホームページを通じて保護者の皆様へ適宜お知らせします。



区ホームページ 二次元コード

鹿骨小・松本小 統合・改築事業スケジュール案

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
改築スケジュール	基本構想基本計画		新校舎の設計 基本構想・計画を基に新校舎の設計図面を作成します。	松本小敷地 解体	新校舎建設	新校舎利用開始	校庭・外構整備
	両校の特色などを基に、『どのような学校に改築していくか』をまとめます。			鹿骨小敷地			鹿骨小校舎を仮校舎として学校運営
統合スケジュール	在り方検討会	合同会議		学校統合	学校やPTAを中心に、教育内容や学校運営などに関する具体的な事項について協議・検討を行います。		
		統合に関する諸課題について、協議・検討を行います。					
事業概要							
	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度末までは、鹿骨小・松本小ともに、既存校舎で学校運営を行います。 令和6年度中に鹿骨小で一部改修工事を実施します。 			<ul style="list-style-type: none"> 令和7年4月に統合後、鹿骨小の既存校舎で学校運営を行います。 令和7年度から松本小の校舎解体工事及び同敷地での新校舎建設工事を行います。 		<ul style="list-style-type: none"> 松本小敷地に建設された新校舎で学校運営を開始します。 校舎建設後、校庭・外構整備工事を行います。 	